

日本の青空 PART III



未来への決断！
私たちの選択

監督：池田博穂（2013年制作）

脚本：ジエームス三木

【キャスト】

赤塚真人・高木由紀子・渡辺梓・中原果南・穴戸開
ほか

渡されたバトン さよなら原発

2014年5月16日（金）

パルテノン多摩小ホール

1回目（昼）14：00～16：05

2回目（夜）19：15～21：20

前売り券 1200円（当日券 1500円）

中高生・障害者 500円 小学生以下 無料

※1回目のあと、元東電社員や原発労働者のお話、2回目の前(18:30～19:00)に、実行委員長の小森陽一さん(東京大学大学院教授)からのお話があります

主催：「渡されたバトン さよなら原発」多摩上映実行委員会

問い合わせ・連絡先→311-4338(新田)、090-5322-3643(橋本)、090-4433-6789(山本)

映画のあらすじ

1969年春、過疎化が急激にすすむ新潟県巻町に、どこかの企業が町の浜に「レジャーランド」をつくるらしいという「朗報」が舞い込む。ところが、6月になって、北東電力(東北電力のこと)の原発建設計画であることが「新潟日報」のスクープで明らかになる。

膨大な補助金でさびれた町が息吹き返すと力説する議員や町の職員。しかし多くの住民は戸惑った。原発そのものがよくわからなかった。「北東電力」は「計画」を公表、何十億円もの協礼金や補償金に群がる人々は、あの手この手で「計画」を推進し始めた。町が、人が、家族が、変わっていく…。



上映実行委員会から

2013年に制作された映画「未来へのバトン さよなら原発 日本の青空Ⅲ」は、新潟県巻町(現・新潟市)での国と東北電力による「原発立地」計画に対し、住民が住民投票を実現し、結果的には建設計画を阻止した実話を描いた劇映画です。映画のモデルになった運動は、「原発を、受け入れるにしろ、受け入れないにしろ、住民の意思で決めよう!」ということに貫かれ、「原発ゼロ社会をめざす」運動にとっても、「住民自治をめざす」運動にとっても、新しいエネルギーを得られるものではないでしょうか?

……こんな思いで、有志が集まり、3月17日(月)、上映実行委員会がスタート、小森陽一さんに実行委員長をお願いしました。

**チケットをご希望の方は、下記まで、お申し込み、
または、お問い合わせください**

042-311-4338(新田)、090-5322-3643(橋本)、090-4433-6789(山本)

**※下記の欄に記入していただいてfaxしていただいても
けっこうです→042-311-4338**

	お名前	ご住所	電話	枚数

実行委員を募集しています。協力して下さる方は、上記の「お名前」の前の欄に○印をつけてください!